

兵庫県のにり漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 12号)

この海域全般に大型珪藻のコシノディスカスが散見されており、やや増加傾向にあります。今回調査は上げ潮時でしたが大阪湾全体に栄養塩が減少していることもあり、窒素は明石海峡部周辺海域において2~3 $\mu\text{g-at/L}$ とやや低く、この海域においては概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 台と前回(2/13)調査と比較し減少しています。

(水温) 漁場平均10.8 $^{\circ}\text{C}$ 。平年比2.2 $^{\circ}\text{C}$ 、昨年比0.4 $^{\circ}\text{C}$ ともに高い。(塩分) 平均32.30psu。前回(32.40)より約0.1psu低い。
 (栄養塩、珪藻) コシノディスカスが海水1Lあたり60~80細胞とやや目立って確認されており、それ以外の珪藻はほとんど見られない。播磨灘全体的に栄養塩が漸減しており、また、大阪湾でキートセロスを中心とした数種の小型珪藻の発生により栄養塩が減少していることもあり、この海域においても窒素は概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 台と低下している。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.1	10.8	8.6	10.4
窒素	2.5	1.2	1.5	2.3
リン	0.51	0.40	0.30	0.30

(2/13) (2/19)

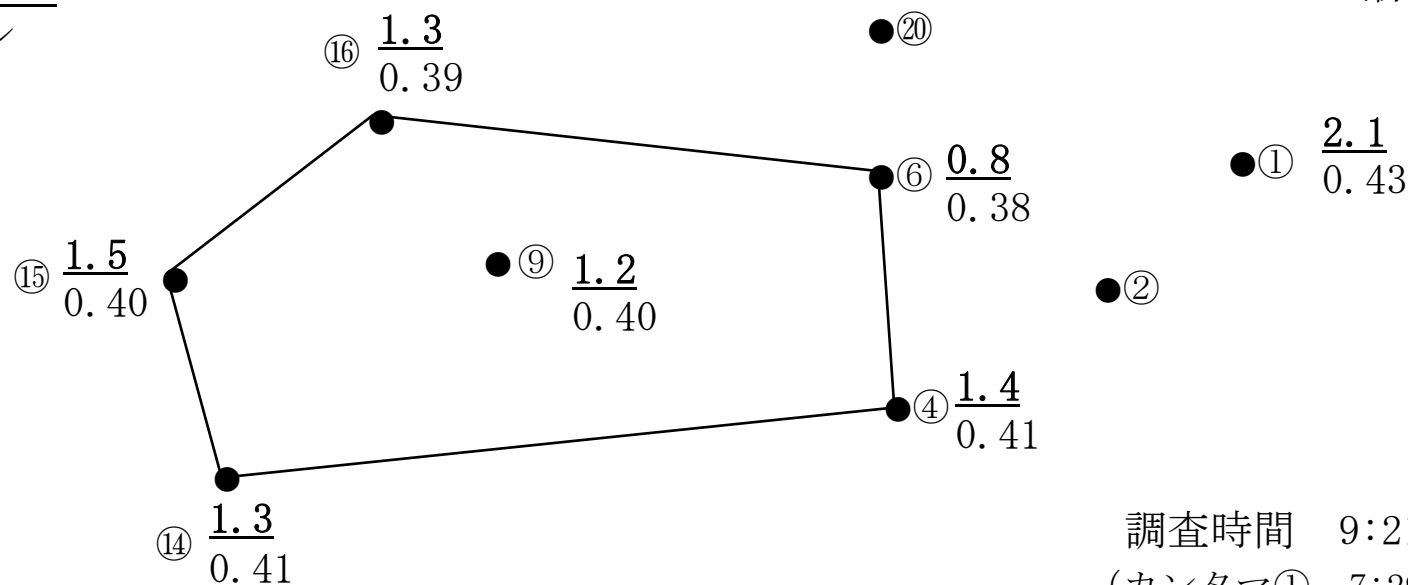
2020年 2月25日調査

栄養塩図

潮：上げ潮

窒素

リン



水温・塩分図

水温

塩分

